

**Fintech ベンチャーの Finatext、日本 IBM と協業して
金融機関向けにロボアドバイザーのエンジンを提供開始**

2014年設立 Fintech ベンチャーの株式会社 Finatext（本社：東京都千代田区、代表取締役：林良太、以下「Finatext」）は、日本アイ・ビー・エム株式会社（以下「日本 IBM」）と協業して、Finatext が保有する独自のロボアドバイザーのエンジンを金融機関向けに提供いたします。

ユーザーが質問に答え、最適なポートフォリオを提示する資産運用のスタイルであるロボアドバイザーは、運用自体ではなく購入者と販売側のコミュニケーションの促進に対して非常に大きな役割を果たすサービスです。現状、投資信託の販売の大多数は未だに対面によって行われており、ここにロボアドバイザーの仕組みを利用することで、インターネットと対面をうまく融合した新しい投資信託の販売の形が確立され、今後広がっていく「貯蓄から投資へ」の動きに大きく貢献すると見られています。

投資信託協会の評価機関でもある Finatext は、国内のすべての公募投信のデータを API を通じて提供してきた実績があり、ウェブサービスやスマートフォンアプリ運営で蓄積してきたノウハウを活用し、各金融機関が販売している投資信託をもとに適切なポートフォリオを表示するロボアドバイザーエンジンを開発してまいりました。

特に 2015年12月に三菱東京 UFJ 銀行とパートナーを組んでリリースした、投資信託選びをサポートするスマートフォンアプリ『Fundect』は、いくつかの質問に答えるだけで、そのユーザーのリスク性向にあった投資信託がリストで見られるサービスで、ユーザーのデータを活用した投資信託選定のアルゴリズムは日々改善・改良しております。

この度の協業においては、日本 IBM と共に、Finatext の持つ投資信託選定のエンジンを、全国各地の金融機関、特に地方銀行に向けて提供してまいります。

◆株式会社 Finatext について

2014年設立の東京大学発 Fintech ベンチャー企業。金融に関する豊富な知識・経験を基盤に、それを誰にでも分かりやすい UI/UX に落としこみ、非常に短い期間で開発を行う技術力を持ちあわせております。モバイル金融サービスの開発・企画・運営に強みを持っており、日本一株予想の集まるアプリ『あすかぶ!』や FX アプリ『かる FX』、投信選びをサポートするアプリ『Fundect』、そして独自の投資信託のデータベースである『AssetArrow』を開発・運営しております。また、2015年度に行われたマレーシア最大の銀行 Maybank 主催の Fintech コンテストにおいて日本企業で唯一選抜され優勝するなど、グローバル展開も注力しております。

◆日本アイ・ビー・エム株式会社について

次のサイトをご覧ください。

www.ibm.com

本件に関するお問い合わせ先
株式会社 Finatext 経営企画室 高橋充
E-mail: info@finatext.com